

和歌山だより

平成26年1月号
(2014)



丹生都比売神社（かつらぎ町）

CONTENTS

1. 知事メッセージ ······ P1
2. 和歌山県政トピックス ··· P2 ~ P10
3. ふるさと歳時記 ······ P11 ~ P12

本年もよろしくお願い申
し上げます。



国土軸

この言葉を初めて身近に聞いたのは、私が国土庁官房総務課に出向して、四全総(第四次全国総合開発計画)の策定作業に参加していた時のことでした。四全総では、国土の中心軸が1つでは、そこで何らかの事態が生じると大変なので、これを多軸構造にしておかなければならぬとし、九州から四国を東西に横断し、淡路島を通って和歌山市付近から三重、愛知南部を通っていく空間を第2国土軸として提唱したわけです。これを契機に、この国土軸を実現しようという動きが活発になり、和歌山でもこの一環として紀淡海峡の橋又はトンネルを実現しようという機運が高まりました。しかしながら、明石海峡か紀淡海峡かという対立もあり、世の中が段々とインフラ投資を進めようという活力を失っていく過程でほとんど休眠状態になってしまいました。

正直言って私は、あの四全総の時代に、国土軸というものがどれほど威力を持っているか分かっていませんでした。しかし、単なる高速道路や、その四車線化ですら、それが整備されて全国と素早くつながっている地域と、どんどん後回しにされた和歌山のような地域とで経済発展や防災上の備えに大きな差があることに気付きました。さらに国土軸の上に乗っている地域とそうでない地域との間で人々が受けとるさまざまなチャンスにあまりにも大きな差があることに今さらながら驚いている所です。

そういう思いを胸に、関係する他県の知事さんたちに説き、協議会を立ち上げ、四国新幹線と関空超高速列車と関西外環高速道路と大阪湾環状高速道路という4つのプロジェクトを同時に実現するために、もう一度皆で立ち上がりたいという大きな動きを作ろうとしています。これが実現すればあの四全総の第2国土軸がこの和歌山を通ってできることになり、単に関係府県のみならず日本

の国土強靭化のためには、大変望ましいことだと思います。この協議会は9月21日に発足し、11月28日には東京で、国土強靭化のオピニオンリーダー 藤井 聰 氏をメインスピーカーにしてシンポジウムを開きました。一旦眠った話をどれだけ大きな動きにできるか確たる事は分かりませんが、あの四全総の理想を心に浮かべながら、努力していきたいと思います。



新春インタビューにて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●「紀の国わかやま国体・わかやま大会」応援議場演奏会が行われました

・県議会開会日の12月3日、県議会議場において、議場演奏会が行われました。この演奏会は、山田 正彦 県議会議長の発案で、平成27年に開催する「紀の国わかやま国体」「紀の国わかやま大会」を盛り上げる気運を県民みんなで高めるとともに、和歌山県民歌のより一層の浸透を図るために実施されました。

議場での演奏会は、県政史上初めてとなりました。

・宝塚歌劇団月組男役で活躍された元タカラジェンヌで、現在はりら創造芸術高等専修学校で特別講師を務める 天翔りいらさんが「君が代」を独唱し、その後、貴志川コーラス・男声合唱団ほえーるの皆さん、「和歌山県民歌」、両大会イメージソング「明日へと」を歌い上げました。最後には、県議会議員の皆さん、仁坂知事をはじめとする県職員、満席となっていた傍聴席の皆さんも一体となった大合唱となりました。

・和歌山県民歌は、戦後間もない昭和23年に一般公募により誕生しました。作詞は西川好次郎 氏(昭和51年県文化功労賞受賞)、作曲は選者である 山田耕筰 氏自身が手がけ、格調高く複雑な構成をなす芸術性の高い楽曲といわれています。県のHPからも聞くことができますので、是非聞いてみてください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/tools/symbol.html>



和歌山県民歌 作詞：西川好次郎 作曲：山田耕筰

1番 ほのぼのと かおる浜木綿(はまゆう)
陽(ひ)に映(は)ゆる 緑の起伏

和歌山は 常春の国

人の和と 文化を添えて

いや更に 伸びよ栄えよ

ふるさとは 常に微笑む

2番 南国の 息吹ゆたかに

野は穏り 街(ちまた)はおどる

和歌山は 幸を生む国

汗に明け 火花に暮れて

いや更に 伸びよ栄えよ

ふるさとは 常に微笑む

3番 くろがねの 軌道(みち)ゆくところ

黒潮の しぶきはめぐる

和歌山は 明日を呼ぶ国

とこしえの 若さに乗りて

いや更に 伸びよ栄えよ

ふるさとは 常に微笑む



●紀の国わかやま国体・わかやま大会イメージソング「明日へと」坂本冬美Ver. 完成

・この度、「紀の国わかやま国体」「紀の国わかやま大会」イメージソング「明日へと」の坂本冬美さんバージョンCDが完成しました。「明日へと」のCDは、両大会の開催気運を盛り上げるため、ウインズの皆さんほか県出身のアーティストらが歌うバージョンを、一昨年9月から販売していましたが、さらに、両大会の開催周知を図るために、県出身の音楽プロデューサー酒井 政利 さんプロデュースのもと、歌手 坂本 冬美さんに歌唱いただいたものです。

・CDは、県内のオーパワ、エバグリーン、松源など、県外ではわかやま紀州館(東京都千代田区)において、きいちゃん募金グッズとして12月20日から500円(税込)で販売しています。売上げの全額は、きいちゃん募金に積み立て、花いっぱい運動やボランティア活動などの大会運営経費として使わせていただきます。また、今後、取扱店舗の拡大を図っていきます。

関係者メッセージ

○酒井政利さん(音楽プロデューサー)：有田市出身

「黒潮の海、靈験あらたかな山、絆深い人の暮らす街…悠久の国、和歌山で生まれ育ったことに感謝を込めて、明日への希望を応援歌に託しました。」

○坂本冬美さん(歌手)：上富田町出身

「故郷に思いを馳せて、歌わせていただきました。2015年開催の紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の大成功へ向けてみんなで明日へと走りましょう！」



●紀の国わかやま国体参加章・記念章デザイン決定！

・県内はじめ全国から集まる紀の国わかやま国体の参加者が、大会を通じて実感した夢や感動、和歌山の魅力を忘れることなく永遠の記憶として残せるよう、紀の国わかやま国体の参加章・記念章を制作しますが、この度、そのデザインが決定しました。大会のマスコット「きいちゃん」が炬火を持って元気いっぱい走ってくる躍動感あふれる姿を表現したデザインで、和歌山が誇る伝統工芸品の技法を用いた紀州漆器により制作します。

(直径：約38mm、厚さ：約2.5mm、材質：紀州漆器、金属(亜鉛ダイキャスト))



<参加章>都道府県選手団、大会役員、競技会役員及び競技役員に配布

<記念章>公開競技及びデモンストレーションスポーツの参加者、並びに大会補助員、協力者に配布

今月の和歌山県政トピックス

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金(きいちゃん募金)に係る感謝状贈呈

・12月4日、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金(きいちゃん募金)に多額の寄附をいただいた以下企業に、仁坂知事から感謝状を贈呈しました。



・仁坂知事は各企業の皆さんに、「国体準備も着々と進んでおり、後は優勝できるかです。それに向けて精一杯頑張ります。」とお礼とともに述べました。

・提供いただきました寄附金は、両大会のボランティア活動や県民運動などの大会運営経費に活用させていただきます。

企業名	出席者
アクロナイネン株式会社	勝本 喜一 代表取締役社長
株式会社サイバーリンクス	村上 恒夫 代表取締役社長



●農林水産関係試験研究機関が取り組む平成26年度新規研究テーマ募集!

・県では、平成24年度に「農林水産業競争力アップ技術開発事業」を創設し、生産者の所得向上や地域の活性化につながる新たな技術開発を加速させるため、現在39件の研究テーマを取り組んでいます。

・来年度も、広く皆さんとの声をしっかりと反映させた研究を実施するため、試験研究機関が取り組む新規研究テーマを募集することとしました。また、現在実施している継続研究を更に完成度の高いものとするための御意見も併せて募集します。農林水産関係者の方だけでなく、本県農林水産業の発展に関心のある県内外の皆さんからの御意見を募集しています。

○募集概要

内 容

1 平成26年度新規研究テーマ

本県農林水産業の発展役立つ①新品目の生産技術開発②高品質生産技術の開発
③低コスト・省力化技術の開発④その他

2 現在実施中の研究をブラッシュアップするための御意見

現在の研究テーマ：たんそ病に強いイチゴ新品種の育成

高育種価熊野牛の遺伝子セービング技術の開発 など

詳しくは<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070109/index.htm>に掲載

期 間 平成25年12月27日～平成26年1月31日(必着)

応募方法 応募様式(上記HPに掲載)に必要事項を記入の上、メール、FAX、郵送にてご応募ください。

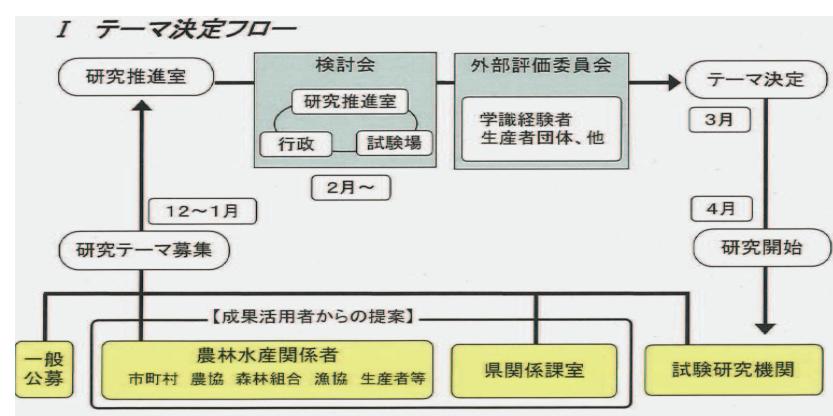
提 出 先 和歌山県農林水産部農林水産総務課研究推進室

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

電話 073-441-2995 FAX 073-433-3024

メール e0701003@pref.wakayama.lg.jp

その他の お問い合わせは新規研究テーマは県議会において平成26年予算承認後に決定します。



●和歌山県文化表彰50周年記念講演・コンサートを開催しました

・12月3日と12月7日、和歌山市の県民文化会館において、和歌山県文化表彰50周年記念事業を開催しました。これは、先月号でもお知らせしましたが、県文化表彰が創設以来50周年を迎えたことを記念して開催したものです。



・12月3日には、岡田脩克さん(平成13年度文化功労賞)による舞台いけばなデモンストレーションが披露され、独創的な挿花が大きな感動を呼びました。また、作家辻原登さん(平成13年度文化賞)に「紀州、わが文学の原郷～ひとつの短編小説の朗読を添えて～」と題した講演をいただき、白浜や熊野等、和歌山にまつわるお話のほか、小説「家族写真」が朗読され心に染みるひとときとなりました。



・12月7日には、宮下直子さん(ピアノ:平成10年度文化奨励賞)、片桐仁美さん(声楽:平成16年度文化奨励賞)、西陽子さん(箏:平成15年度文化奨励賞)、澤和樹さん(ヴァイオリン:平成16年度文化賞)によるコンサートを開催し、それぞれの心のこもった演奏が、鑑賞者一人ひとりの心へ響き渡りました。

●東京レザーフェアに県内企業が出展しました

・12月5日と6日の2日間、東京都立産業貿易センター台東館(東京都台東区)において開催された「東京レザーフェア」に、県製革事業協同組合加盟の以下の和歌山市の企業が出展しました。



・県では、主要地場産業である皮革産業振興のため、県内皮革生産者の優れた技術・製品の販路開拓に関する支援を行っており、この支援の一環として、国内皮革関連業者が新素材・製品等を出展する国内最大の皮革見本市である「東京レザーフェア」に出展したものです。全体で、54社9団体が出展し、5,901人の来場で賑わう中、県内企業もエナメルや草木染めなど特色のある自社製品を大いにPRし、新たな販路開拓のきっかけとなりました。

○出展企業 :

森久工業、(有)大星産業、(有)ハヤシ、和歌山工芸革協業組合、坂口皮革工業所
(有)トミタ工業、(株)藤本安一商店、協業組合正和、(株)上忠、正揮皮革工業所

●株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティングが和歌山市へ進出

・12月24日、株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング(本社:東京都新宿区)が和歌山市へ進出することが決定し、協定調印式を開催しました。これで、平成18年12月以降の企業立地件数は120件となりました。



・調印式において、仁坂知事は、「和歌山への進出と多くの雇用を創出していくたることについて心から歓迎しています。」と述べました。

・同社は、平成11年設立で、様々な医療保険や損害保険の総合代理店事業を実施しており、コールセンターを活用して販売から契約までの全ての業務を完結するセールスモデルを開拓しています。今回、保険事業の拡大に対応する新たな拠点として、和歌山市にコールセンターを開設することとなりました。和歌山市のコールセンターの操業は平成26年7月に予定されており、県内新規地元雇用者190名が見込まれています。

●きのくにロボットフェスティバル2013を開催！

・12月15日、御坊市立体育館において、「きのくにロボットフェスティバル2013」を開催しました。この大会は、子どもたちがものづくりの楽しさを実感し、将来ものづくりに携わる人材として活躍することを期待して平成19年度から開催しているもので、今回で7回目となりました。開会式において、仁坂知事は、「名実ともにロボットの甲子園にしよう。各校の代表選手をしっかり応援しよう。」とエールを送りました。



・今回は小中学生合わせて68チームの参加があり、滋賀を除く近畿各府県をはじめ、三重、福井、岐阜、徳島の各県予選会を勝ち抜いたチームによる全日本小中学生ロボット選手権、県内の競技会から選抜された高校生によるきのくに高校生ロボットコンテストなど、県内外から選抜されたロボットによるトーナメント競技が実施され、会場には、出場各校から多くの応援団や観客が訪れ、ロボットの熱戦に大きな声援が送られました。和歌山県代表では、中学生の部において和歌山市立高積中学校3年生 前杉 晟也くんが、見事優勝を果たしました。その他の試合結果は以下のとおりです。

・競技の合間には、トヨタの「パートナーロボット」によるバイオリン演奏や「ALSOKの巡回警備ロボット リボーグQ」のステージ、全国高専ロボコン優秀チームによる実演など、最先端のロボットのパフォーマンスに会場からは歓声が上がっていました。

<全日本小中学生ロボット選手権の試合結果>

		【小学生の部】		【中学生の部】	
賞	ボット名	学校名	ボット名	学校名	
優勝	Queen	伊賀市立青山小学校	銃偽騎めか	和歌山市立高積中学校	
第2位	MK-1	有田市立保田小学校	ジヨーカーX	和歌山県立みはま支援学校中学部	
第3位	ボット4	御坊市立御坊小学校	タクヤNumber6	京都府立洛北高等学校附属中学校	
第3位	真田丸	加古川市立陵北小学校	カシオペア	大和郡山市立片桐中学校	
アデア 大賞	MK-1	有田市立保田小学校	ケイソウIII	御嵩町立向陽中学校	
デザイン 大賞	ボット4	御坊市立御坊小学校	シップリー	生駒市立生駒中学校	
省エネ大賞	ストライクブルー	鈴鹿市立旭が丘小学校	リフトアップ	紀の川市立打田中学校仙渓分校	
イノベーション 大賞	ペラクレスン	神戸市立神の谷小学校	タクヤNumber6	京都府立洛北高等学校附属中学校	
ものづくり大賞	かけ吉	徳島市立助任小学校	バンブルビー2nd	海南市立第三中学校	
フロンティアスピリット大賞	メカクガタ	神戸市立西須磨小学校	ジヨーカーX	和歌山県立みはま支援学校中学部	
メッセージング 大賞	TORUS	綾部市立綾部小学校	キューブ	高砂市立高砂中学校	
ドリーム 大賞	キャメルロボ	海南市立大東小学校	フェニックス	大和郡山市立片桐中学校	

<きのくに高校生ロボットコンテストの試合結果>

賞	ロボット名	学校名	賞	ロボット名	学校名
優勝	KTN V	和歌山県立 和歌山工業高等学校	イハーション 大賞	KTN V	和歌山県立 和歌山工業高等学校
第2位	紀北工一	和歌山県立 紀北工業高等学校	ものづくり 大賞	紀北工一	和歌山県立 紀北工業高等学校
第3位	タボーン⑨	和歌山県立 田辺工業高等学校	フロンティアスピリット大賞	ロボットパラディス	和歌山県立 田辺工業高等学校
第3位	ロボットパラディス	和歌山県立 田辺工業高等学校	アメーシング 大賞	タボーン⑨	和歌山県立 田辺工業高等学校
			ドリーム 大賞	BRUT II	和歌山県立 和歌山工業高等学校

●第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会で開智高校が大健闘！

- ・12月17日、和歌山市のアバローム紀の国において、「全日本バレーボール高等学校選手権大会」にアベック出場した開智高校(男子代表は19年連続19回目・女子代表は2年連続5回目)の健闘を祈念して壮行式を開催しました。
- ・仁坂知事は、「素晴らしい校歌を聞いて感動しました。ピンチになった時には、校歌を思い出して乗り越え、予選で敗退したチームの分まで全国大会で頑張ってください。」と激励するとともに、紀の国わかやま国体マスコットキャラクター「きいちゃん」も応援に駆け付けました。
- ・選手を代表して男子の米澤 裕真 主将は、「甘さを出すことなくワンプレーに厳しく優勝を目指します。」、女子の福山 紫穂 主将は、「持ち味である粘りを発揮して頑張ります。」とそれぞれ大会に向けて力強く決意を述べました。
- ・大会は1月5日から、東京体育館(東京都渋谷区)において開催され、女子は初戦の八王子実践高校(東京都代表)と対戦し、残念ながら初戦敗退となりました。
- ・男子は初戦の2回戦で鎮西高校(熊本県代表)に、続く3回戦で福井工大福井高校(福井県代表)に、いずれもセットカウント2-0で勝利し準々決勝に進出しました。準々決勝では、昨年の優勝校星城高校(愛知県代表)と対戦し、セットカウント1-2で接戦の末惜しくも敗れましたが、初めてのベスト8進出と健闘が光りました。



今月の和歌山県政トピックス

●株式会社独立総合研究所 代表取締役社長・兼・首席研究員 青山 繁晴氏が講演

・12月20日、県教育委員会が主催する教育講演会「和歌山県親と子どものためのきらめき“夢”トーク」において、株式会社 独立総合研究所 代表取締役社長・兼・首席研究員 青山 繁晴 氏を講師に招き、「祖国にはきみしか居ない」と題した講演をいただきました。

・今回の講演では、先月号でも大きく取り上げました第四の埋蔵資源(新資源)として期待されるメタンハイドレートの可能性について、和歌山県内で実施されている存在調査結果等も踏まえて語られるとともに、学生に向けて何のために高校や大学、大学院で学ぶのか、御自身の経験をもとに熱くお話しをしていただきました。

・高校生を中心に約700人が参加し、「日本の資源やエネルギー問題について、視野が広がりました。」「もっと人のためになるよう勉強するようにしたい。」と感銘を受けていました。

・また、夜には「わかやま塾」の講師として、企業経営者、起業を志す方等の塾生を前に「日本の出番、祖国は甦る」と題した講義をされ、講義後に開催した交流会では塾生との交流を深めていただきました。



●今秋の津波災害対応訓練に米軍も参加

・県が今年10月19日に実施する津波災害対応実践訓練に、自衛隊とともに在日米軍も参加し、新型輸送機「オスプレイ」も活用されることとなりました。自治体主催の防災訓練にオスプレイが参加するのは、全国で初めてとなります。この訓練は一昨年から実施している実践訓練で、県民の皆さんをはじめ自衛隊や海上保安庁、国土交通省など多くの防災関係機関が参加する大規模なものです。

・南海トラフ地震など大規模災害時には、できるだけ多くの防災関係機関の協力をいただき、持てる資源を最大限活用して一人でも多くの県民の命を守らなければならないため、防衛省から米軍の参加について打診があった際に、受入れを快諾したものです。

・仁坂知事は、「台風12号の際に、日本中にヘリコプターを手配したがぶっつけ本番だった。その反省としてあらかじめ多くの支援が投入されるよう訓練しておくことは当然である。オスプレイは航続距離が長い上に、速度が速く積載量も大きい。負傷者搬送のほか、医療物資や緊急生活物資の運搬など災害時には大いに頼りになる。」と期待を込めて話しました。また、安全性についても、「耐え難いくらい危ないものではなく、同様の大型ヘリに比べても重大事故の発生確率は少ない。危険性を心配する皆さんには、データで安全性を説明したい。」と述べました。訓練実施に向け、具体的な内容については今後協議していくこととなります。

●和歌山・奈良・三重道路規制情報ホームページ開設

・12月3日から和歌山・奈良・三重の三県の道路規制情報がまとめて見られるホームページを開設しています。これは、紀伊半島大水害の際に、三県にまたがる山間地域の幹線道路が大きな被害を受け、隣県と合わせた広域情報を求める声が多く寄せられ、三県が連携して一元化したものです。

・このHPでは、各県が個別に提供している道路規制情報と連携し、ひとつのHP上で紀伊半島の広域道路情報を提供しています。南部山間地域の広域幹線道路(国道168号、国道169号)において災害等が発生した場合には、広域の迂回路として隣接県内道路を設定することもあり、迂回路情報も容易に入手可能となっています。また、各県の道路規制情報HPが更新されると同時に当HPへ反映され、当HPへは各県の「通行止め」情報が掲載されます。その他の詳細な情報は各県のHPで確認が可能となります。

・これで、紀伊半島全体の道路状況が一目で分かるようになり、大幅に利便性が向上しました。詳しくは、こちらをご覧ください。<http://www2.wagamachi-guide.com/3kenhp/>

(イメージ図)

三県を対象に同条件での検索が可能

三県を区別することなく、広域地図を表示

今月の和歌山県政トピックス

●先駆的産業技術研究開発支援事業の採択事業決定(第2回公募分)

・9月号でもお知らせしましたが、「和歌山県産業技術基本計画」に基づき、全国あるいは海外において、今後高いニーズが見込まれる先駆的産業分野で、県内企業等が有する技術シーズを活用して取り組む研究開発に対して支援を行う「先駆的産業技術研究開発支援事業」について、この度、第2回の公募、審査委員会での審査等を経て、新たに以下の3件の採択を決定しました。

・県は、今後、今回の採択案件の事業化を支援していくとともに様々なツールを活用し、県内にある「先駆的」技術シーズの更なる発掘・育成を図り、県産業の高度化に努めていきます。

事業所名	所在地	採択事業	分野
㈱ミラック	和歌山市	超鏡面研磨ロール表面の微小キズ検査技術の開発	ボット・組立
三木理研工業㈱	和歌山市	蓄熱性塗壁の開発、蓄熱性塗壁用マイクロセル化技術の開発	化学
プラム食品㈱	上富田町	県産梅果実のミコドリア活性化機能を活用した食品開発	パッケージ・食品

●県JAビルが竣工

・12月21日、老朽化や耐震不足により平成23年から改築工事が進められていた県JAビル(和歌山市美園町)が完成し、竣工式が行われました。式典において仁坂知事は、「この新しいJAビルを拠点としてグループが結束し、総合力を発揮して、組合員はもとより地域のニーズに応えられるとともに、県農業を牽引していただきたい。」と期待を込めました。

・新しいビルは、地上12階、地下1階のガラス張りで、JA関連の事務所のほか、1階には朝市や展示会ができるイベント広場「アグリテラス」、2階には一般の方も利用できる多目的ホール「和(なごみ)ホール」等も設備されており、今後、JR和歌山駅前の活性化が期待されます。



●いこいの村わかやま「イブの恵み」シリーズが全国No. 1に！

・9月号でお知らせしていましたが、キリンビールのプレゼントキャンペーン「選ぼう ニッポンのうまい！2013」のプレゼント商品に採用された「プレミア和歌山ハム・ソーセージ詰合せ」ですが、キャンペーンでの応募数が全国No. 1を獲得しました。

・「プレミア和歌山 ハム・ソーセージ詰合せ」は、すさみ町の特産品で 株式会社 いこいの村わかやま で飼育生産したF1イノブタ(一代交雑種)肉「イブの恵み」を使用したハム・ソーセージです。肉質は、あっさり感で臭みがなく、保水性がよく、特に脂身は甘くコクがあり、口に入れるととろけるような食感が好評です。

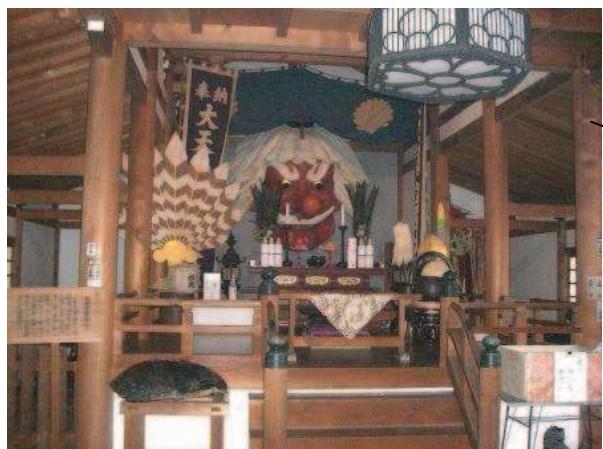
・いこいの村わかやま「イブの恵み」シリーズは、平成24年度にプレミア和歌山推奨品に選ばれ、なかでも「イブの恵み モモハム」は、推奨品の中から特に優れた产品に与えられる「審査委員特別賞」を受賞しています。

・株式会社いこいの村わかやまのHPから購入することができます。是非、御賞味ください。<http://www.rakuten.ne.jp/gold/evefarm/>



イベント情報(1月11日~2月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
1/13	天狗まつり	由良町・興国寺	興国寺 0738-65-0154
1/15	卯杖祭	和歌山市・伊太祁曽神社	伊太祁曽神社 073-478-0006
1/15	隅田八幡神社管祭り	橋本市・隅田八幡神社	隅田八幡神社 0736-32-0188
1/19	天野の御田祭	かつらぎ町・ 丹生都比売神社	丹生都比売神社 0736-26-0102
1/19	仙人風呂感謝祭・かるた大会	田辺市・川湯温泉	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
1/25	まぐろ祭	那智勝浦町・ 勝浦漁業協同組合	那智勝浦町観光協会 0735-52-5311
1/25	初天神	和歌山市・和歌浦天満宮	和歌浦天満宮 073-444-4769
1/25	本州最南端の火祭り ・望楼の芝焼き	串本町・潮岬	串本町観光協会 0735-62-3171
1/26	すいせん祭	由良町・ 県立白崎青少年の家	県立白崎青少年の家 0738-65-2351
1/27	立春大護摩供星祭	那智勝浦町・補陀洛山寺	補陀洛山寺 0735-52-2523
2/2	紀州口熊野マラソン	上富田町	同マラソン実行委員会 0739-47-0550
2/6	お燈まつり	新宮市・神倉神社	新宮市観光協会 0735-22-2840
2/8	針供養	和歌山市・淡島神社	淡島神社 073-459-0043



「天狗まつり」は、興国寺を一夜で再建したといわれる天狗伝説の靈験あらたなる神通力にあやかろうと、天狗堂にて読経、特設舞台にて天狗舞の奉納を行うものです。

天狗堂：昭和48年建立

天狗面：京都の人形師原松風氏と原将雄氏の合作

高さ2.4m・幅2.7mで(当時)
日本一の大きさ

自然・風物情報(1月中旬～2月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
1月中旬	キンカン収穫始まる	串本町・大島	J A紀南 0739-23-3450
1月中旬	巨大張り子の登場	田辺市・川湯温泉	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
1月中旬	人気者クマのベニ一冬眠	和歌山市・和歌山公園	和歌山城整備企画課 073-435-1044
1月中旬	「蔵出しミカン」初出荷	海南市・下津町	J Aながみね蔵夢選果場 073-492-1235
1月下旬	スターチスの出荷最盛期	御坊市	J A紀州中央 0738-22-2480
1月下旬	熊野古道にコセリバオウレン	田辺市・中辺路町	中辺路町観光協会 0739-64-0501
1月下旬	潮干狩り解禁	那智勝浦町・浦神湾	那智勝浦町観光協会 0735-52-5311
1月下旬	ニホンスイセン見頃	串本町・樅野崎灯台周辺	串本町観光協会 0735-62-3171
		由良町・ 県立白崎青少年の家	県立白崎青少年の家 0738-65-2351
2月上旬	ひなめぐり	海南市	海南ひなめぐり実行委員会 080-3840-0740
		那智勝浦町	那智勝浦町ひなめぐり実行 委員会 070-5545-8195
2月上旬	県庁で紀州雛がお出迎え	和歌山市・県庁	県子ども未来課 073-441-2492
2月上旬	ハウスのいちご狩り始まる	紀の川市・貴志川町	貴志川観光いちご狩り協会 0736-64-7212
2月上旬	梅林オープン	みなべ町・ 南部梅林、岩代大梅林	みなべ観光協会 0739-72-4949
		田辺市・紀州田辺梅林	紀州田辺観梅協会 0739-26-9929
2月上旬	バイカオウレン咲き始める	田辺市・熊野古道沿い	熊野本宮観光協会 0735-42-0735

プレミア和歌山にも認定されている「蔵出しもつみかん」は、12月の完熟みかんを土蔵のような貯蔵庫で静かにゆっくりと熟成させた本貯蔵みかんです。糖と酸のバランスが良く、まろやかな食味が特徴です。



～編集後記～

あけましておめでとうございます。
謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年を表す漢字に「輪」が選ばれましたが、県内においても、あらゆる場面で「輪」の大切さが実感された一年でした。

高速道路を含めた道路の輪（ネットワーク）の整備が進むとともに、多くの皆さんからの支援の「輪」により、紀伊半島大水害からの復興を迅速に進めることができました。また、人と人との「輪」を広げる婚活支援・高齢者の見守り事業、世界に活躍の「輪」を広げる人材を育成する「わかやま塾」の開講など、新たな事業も着実に成果を上げております。さらに、東京で開催された国体では、選手・関係者がひとつの「輪」になって、目標としていた男女総合成績18位を達成しました。来年の「紀の国わかやま国体」男女総合優勝に向けて、選手強化に取り組むとともに、県民一丸となっておもてなしの気運を盛り上げていきたいと思います。

今年はというと、「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録10周年、これを契機とした「和歌山デスティネーションキャンペーン」の実施もあり、和歌山の魅力を全国に向けて発信する絶好の機会を迎えます。県外からお越しの皆さんに、素晴らしい「紀伊山地の自然」「山岳霊場」「参詣道」をはじめとする県内のいろいろな観光資源を御覧いただきたいと思います。また、私たち自身も改めてふるさとの魅力を再認識し、「このふるさと和歌山をもっと元気にするんだ」という決意を新たにしなければなりません。

今年の和歌山のお正月は暖かくて天気も良く、さらに私自身は9連休ということもあり、大変ゆっくりさせていただきましたが、皆様はいかがでしたでしょうか。

小寒を過ぎ大寒に向けて、一年でいちばん寒さが厳しくなる季節を迎えますので、風邪などひかれませんようくれぐれも御自愛ください。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願いします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

2014年（平成26年）1月 NO.69

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022